

令和8年 長崎くんち踊場のご案内 雨天等変更あり
踊町順番及び予定時刻表

《前日》1日目 10月7日(水)朝

踊場	踊町	今籠町	油屋町	元船町	上 町	鍛冶屋町	筑後町
1	諏訪神社	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
2	中央公園	8:10	8:40	9:10	9:40	10:10	10:40
3	お旅所	9:10	9:40	10:10	10:40	11:10	11:40
終了予定		9:40	10:10	10:40	11:10	11:40	12:10

※中央公園(前日)1日目 8:10開始分はすべて招待席です。

《前日》1日目 10月7日(水)夕べ

踊場	踊町	今籠町	油屋町	元船町	上 町	鍛冶屋町	筑後町
1	諏訪神社	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
2	中央公園	17:10	17:40	18:10	18:40	19:10	19:40
終了予定		17:40	18:10	18:40	19:10	19:40	20:10

《中日》2日目 10月8日(木)朝

踊場	踊町	鍛冶屋町	筑後町	上 町	油屋町	今籠町	元船町
1	八坂神社	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
2	中央公園	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30
終了予定		8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00

《後日》3日目 10月9日(金)朝

踊場	踊町	元船町	今籠町	油屋町	筑後町	上 町	鍛冶屋町
1	お旅所	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
2	諏訪神社	8:20	8:50	9:20	9:50	10:20	10:50
終了予定		8:50	9:20	9:50	10:20	10:50	11:20

※感染症対策等、各踊場のルールを守っていただきますようご協力をよろしくお願いいたします。



●株高橋呉服店 嘉永4年1851年	●(有)高野屋 延宝3年1675年	●(株)松翁軒 天和元年1681年	●(株)十八親和銀行 明治10年1877年	●(株)坂本屋 明治27年1894年	●(株)川添硝子(株) 文久元年1861年	●(株)花月 寛永19年1642年	●(有)鍵屋薬品本舗 元禄7年1694年	●(株)小野原本店 安政6年1855年	●(株)江崎つ甲店 宝永6年1709年	●(株)岩崎蒲鉾(株) 明治35年1902年	●(株)入来屋 延享元年1744年	●(株)梅月堂 明治27年1894年	●(株)梅砂屋 寛永元年1830年	●(株)福砂屋 寛永元年1830年	●(株)藤村薬品(株) 明治27年1894年	●(有)古田勝吉商店 明治10年1877年	●(株)文明堂総本店 明治33年1900年	●(株)本田商會(株) 大正3年1914年	●(株)安中集栄堂 明治17年1884年	●(株)大和屋 貞享3年1686年	●(株)橋屋(材工業有) 寛永2年1849年	●(有)吉宗 慶応2年1866年
----------------------	----------------------	----------------------	--------------------------	-----------------------	--------------------------	----------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	---------------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	----------------------	---------------------------	---------------------



事務局 / 〒850-8541 長崎市桜町4番1号(長崎商工会議所内) ☎095-822-0111 http://www.shiniseikai.com

踊場ご案内

諏訪神社 くんち踊馬場
 さじき運営委員会
 (諏訪神社踊馬場横)
 ☎095-821-8596・095-821-7075
<https://kunchi-sajiki.com/>
 観覧券 ●マス席[S・A・B・C]有料
 日 時 ●7日(水)午前7時より
 7日(水)午後4時より
 9日(金)午前8時20分より

お旅所 お旅所さじき
 運営委員会
 (事務所開設 7月13日)
 ☎095-823-9073・095-823-9070
<https://kunchi-motofuna.com/>
 観覧券 ●マス席[S・A・B]有料
 日 時 ●7日(水)午前9時10分より
 9日(金)午前7時より

八坂神社 さじき運営委員会
 (事務所開設 6月3日)
 ☎095-822-6750
<https://kunchi-yasaka.com>
 観覧券 ●マス席[S・A・B]有料
 日 時 ●8日(木)午前7時より

中央公園
 (長崎商工会議所内 長崎伝統芸能振興会)
 ☎095-822-0111
<https://nagasaki-kunchi.com>
 観覧券 ●[指定席・自由席]有料・招待
 日 時 ●7日(水)午前8時10分より(招待のみ)
 7日(水)午後5時10分より
 8日(木)午前8時より

長崎くんちの奉納踊は、やむを得ない状況により、下記①～⑤のように変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

- ①前日(1日目)朝の奉納踊ができなかった場合は、日程が翌日以降に順延されます。
- ②前日(1日目)夕べの奉納踊ができなかった場合は、中日(2日目)に行われます。(例えば、午前中が晴れて夕方より雨になった場合など)
- ③中日(2日目)朝の奉納踊ができなかった場合は、後日(3日目)のお旅所・諏訪神社の後に、中央公園・八坂神社の順で行われます。この場合、中央公園は午前9:30、八坂神社は午前10:30の開始となります。(時間は変更になる場合がございます)
- ④一度でも踊場での奉納踊ができなかった場合は、日程・時間などが変更されますので、必ず当該の踊場にご確認ください。
- ⑤荒天等により奉納踊の日程・時間などが変更され、観覧をキャンセルされる場合は観覧料の半額を払い戻しいたします。各踊場により払い戻しの手続き・期限等が異なりますので、速やかに当該の踊場にご確認ください。

※最新情報は、各踊場のホームページまたは、電話にてご確認ください。



今籠町 本踊

元船町 唐船祭

鍛冶屋町 宝船・七福神

上町 上町コミコミダンス

筑後町 龍踊

2026年(令和8年)
10月7日水・8日木・9日金

※雨天等による変更あり

踊場ご案内
 諏訪神社 くんち踊馬場さじき運営委員会 TEL.095-821-8596
 お旅所 お旅所さじき運営委員会 TEL.095-823-9073
 八坂神社 さじき運営委員会 TEL.095-822-6750
 中央公園 長崎伝統芸能振興会(長崎商工会議所内) TEL.095-822-0111
 ホームページ 検索 詳しくは、こちらのQRコードをご覧ください。



長崎

いま かし まち 今籠町 傘鉾・本踊

平成21年に57年ぶりとなる奉納を果たした今籠町。前回出演年(平成28年)は、籠職人の町であったことに因み、花籠を持った踊り子が華麗に舞い踊る演目にて観衆を魅了した。今回は6人の踊り子らが織りなす美しく鮮やかな奉納踊りで、長崎のまちに華を添える。傘鉾の飾は、白玉が飛散する巖上で荒鷲が翼を休める姿を表現。輪は蛇籠、垂は塩瀬波模様で、100年以上の歴史を持つ。



傘鉾



令和8年

寛永11年(1634年)から続く
諏訪神社の秋季大祭

◆ 踊町紹介 ◆

長崎くんちとは

長崎の氏神「諏訪神社」の秋季大祭で、毎年10月7日から3日間、長崎の町を挙げて催されます。寛永11年(1634年)に、当時の太夫町(後に丸山町と寄合町になる)の高尾と音羽の両人が、諏訪神社前に謡曲「小舞」を奉納したことがはじまりといわれ、長崎ではこの年に「出島」埋築が着工され「眼鏡橋」が架けられています。

踊町とは

奉納踊を出す町のことで7年に一度当番が回ってきます。

傘鉾とは

踊町の行列の先頭に立つ町印のことで、

参考:長崎くんち赤本(呂紅)、「もってこーい」長崎くんち入門百科(長崎文献社)、長崎くんちの栞(長崎伝統芸能振興会)他



あぶら や まち 油屋町 傘鉾・川船

根曳衆による勇壮な「根曳唄」とともに踊場へ入場する荘厳さ、豪華な長崎刺繍の船頭衣装を着けた、かわいい船頭は必見。網打船頭による網打ちの後、軽快な囃子に合わせて、総檣造りの船体が踊場狭しと豪快に曳き回される。傘鉾は、お茶の貿易で名高い大浦慶が寄贈したものと伝えられる。輪はしめ縄、飾は畳の上に三方を置き、熨斗を献上する意匠となっており、その熨斗が落ちないように宝玉で押さえてある。



傘鉾



もと ふな まち 元船町 傘鉾・唐船祭

鎖国時代の唐船貿易の様子を再現した「唐船祭」は、全演し物の中で唯一神様(航海の守護神「媽祖(まそ)様」)が祀られている。江戸期に中国から伝来した音楽「明清楽(みんしんがく)」のしらべに合わせ、胡娘があでやかな舞いを披露。その後、唐船の回転軸を移動させつつ縦横無尽に曳き回す技「ドラゴン」が大きな見せ場となる。傘鉾の飾は、長崎名物の一つとして有名な大波止の「鉄砲玉」を中央に、鶴の港に因んだ鶴二羽と老松樹を配している。



傘鉾



うわ まち 上町 傘鉾・上町コッコデショ

平成21年までは本踊を奉納していたが、町の活性化を目指して、前回出演年(平成28年)より「上町コッコデショ」を奉納。「対馬ひのき」を使って新調した約1トンの山車を担ぎながら、踊り場を勢いよく駆け回った後、「コッコデショ」の掛け声とともに山車を高々と投げ上げ、片手で受け止める離れ業が最大の見せ場。傘鉾の飾は、中央に御幣と榊を置き、諏訪社に神楽を奉納する意を表して、神楽鈴と烏帽子を八つ脚の上に載せている。



傘鉾

か じ や まち 鍛冶屋町 傘鉾・宝船・七福神

帆に「寶(たから)」の文字を掲げた豪華絢爛な「宝船」に乗って「七福神(恵比須天、大黒天、毘沙門天、弁財天、福禄寿、寿老人、布袋和尚)」が登場。七柱各々の性格を表現した踊りで観衆を楽しませる。その後、七福神に導かれた宝船が優雅にそして力強く曳き回され、長崎のまちへと福を運ぶ。傘鉾の飾は、町名に因んだ三条小鍛冶宗近と童子のカラクリ細工で、宗近が槌を振ると童子の顔が伏見稲荷の使いである狐に変わる。



傘鉾



ちく ご まち 筑後町 傘鉾・龍踊

青龍2体と白龍1体が、月に見立てた宝珠を目がけて天高く舞い踊る筑後町の龍踊。中でも、3体の龍が1つの踊場へ集結し、ひしめき合いながらも荒々しく乱舞する「巴踊り」は、龍の昂った感情を全身で表現する同町独自の大技で、観衆を大いに沸き立たせる。傘鉾の輪は注連飾り。飾は岩の上に金・銀・藍・白の玉を、八つ脚の上には鹿の角と草薙の剣を配し、榊ヒモロギ、八咫鏡(やたのかがみ)と曲玉をあしらっている。



傘鉾

